

分野：②

親子でくぬぎ山の枯れたアカマツを切り出し虫探しをしよう

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 風の森狭山台みどり幼稚園
さくら組親子（38人）

所要時間



1 時間 30 分

場所 くぬぎ山（所沢市下富駒ケ原）

実施時期

令和3年11月30日

概要

自然再生事業が行われているくぬぎ山地区の所沢市下富駒ケ原で、親子で秋の生きものを探しながら、アカマツに絡んだクズを取り除き、草地で増えた外来種のキクイモを抜きます。

プログラムの
ねらい

10年前に小学生が植樹したアカマツにはたくさんのクズが絡み、枯れてしまいそうになったので取り外します。

草地には外来種のキクイモがたくさん生えてきたので、掘り起こして芋の部分を取り出します。大きな原っぱではバッタなどの秋の虫を探します。

プログラムの内容

1 くぬぎ山の説明（5分）

かつてはゴミの焼却場から黒い煙がたくさん出ていましたが、今は所沢市が中心になって自然再生事業が進められている。

2 アカマツに絡んだクズを取る（30分）

小学生が植えたアカマツとつる植物のクズを見つける。

アカマツの枝が折れないように丁寧にクズを取り外し、形を整え、根元に落ちている松ぼっくりをつけてクリスマスリースの完成。

3 外来種のキクイモを取る。（40分）

キクイモは繁殖力が強いので、スコップとシャベルを使って土の中に隠れている芋の部分掘り出す。
洗って茹でれば食べることができる

4 原っぱで秋の虫探し(15分)



受講者の反応

大きなスコップを使ってキクイモの芋を探しました。たくさん掘れたので茹でて皆で食べます。キクイモはお店でも売っていますが、こんなところでたくさん増えてしまうのにはびっくりしました。クズのリースは素敵なのでクリスマス用に飾ります。クズを取ってもらってアカマツが元気になってくれるといいですね。キクイモもクズも、採ったものが有効利用で切るなんて素晴らしいですね。お父さんとキクイモをたくさん掘りました。